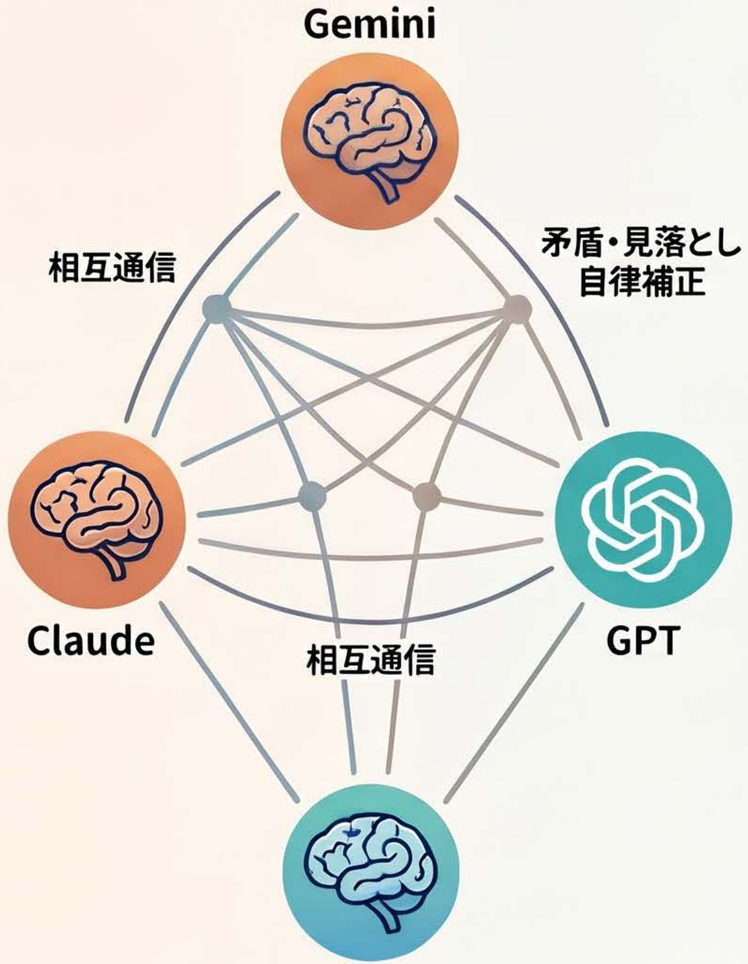
Perplexity Multiagentの知財業務活用とリスク管理

異種モデル相互検証網



Claude・Gemini・GPTがピアツーピア通信し、
矛盾や見落としを自律補正。

実行モード別活用ガイド

Ultra

ハブ型（リード母が独立委任）

オープンエンドな
市場・技術調査

Multiagent

16体
直接通信

メッシュ型（共同編集）

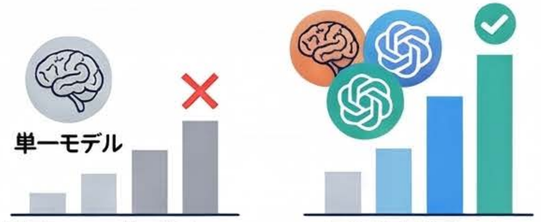
複数文書の整合性監査、
クレームチャート構築、知財DD

Model Council

独立型（独立回答）

単一判断偏倚の比較
（クレーム充足性など）

単一モデル複製超えの精度



精度・コストバランス

異種混成チーム

異種混成チームにより単一モデル4複製以上
上の高精度とコスト抑制を両立。

5つの重点知財ワークフロー

明細書監査
精緻向上・矛盾検知

無効資料・FTO調査
網羅性向上・時間短縮

包袋禁反言
主張一貫性チェック

知財DD
ポートフォリオ評価

IPLで活用
契約書・ライセンス分析

安全な導入のためのリスク管理と運用ルール

Enterprise Maxの必須化

ZDR保証環境

未公開発明の漏洩防止

知財特化型AIとの2段階運用



特化型AIで母集団の一次スクリーニング
を行い、厳選10〜20件を投入。

Human-in-the-Loop徹底



公的DB
自動アクセス

一次資料裏取りと
法的判断は人間が担当

Gemini Notebook